

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	徘徊があるので家族の理解を得た上でユニットの出入り口をオートロックにしている	ロックを解除する。	ご家族によりロックをしておいてほしいとの希望があるが、出来る限り徘徊のパターンを把握し、リビングでの見守りを強化して、行動の制約をしないように、自分で行きたいところに行けるように取り組む。	6ヶ月
2	26	介護計画について、個別の具体的な内容になっていない。	本人本位に、生き生きと生活が出来るような個別の具体的な介護計画書を作成する。	ご本人・ご家族・職員・関係機関で話し合い個別の具体的な計画書を作成する。	6ヶ月
3	23	アセスメントが完璧でない。	ご家族の意向ではなく、ご本人の意向をきちんと反映させたアセスメントを行なう。	日常のご本人とのかかわりの中で、ご本人は何を希望しているかを察知しスタッフで共有を行い、アセスメントに反映する。	6ヶ月
4	36	ご本人の人格を尊重した対応が徹底出来ない。	スタッフ全員が、人格の尊重やプライバシーの配慮が出来るようになる。	人格の尊重・プライバシーについて全職員への研修を行い対応の徹底をする。	3ヶ月
5	1	事業所の理念が、「安心安全なサービスを提供します」となっており、地域密着の意味が盛り込まれていない。	地域密着の意味を盛り込んだ理念に変更する。	関係者で協議し、理念を完成する。	3ヶ月
6	40	入居者と職員が共に食事をしていない。	入居者と職員が共に食事出来るようにする。	休憩時間・費用面で課題はあるが、職員・会社サイドと協議を行い、改善に向かう。	6ヶ月
7	49	地域性もあり、外出は車が不可欠ではあるが職員が運転の車に乗ってもらうわけにはいかず外出に制約がある。	本人が希望する外出が出来、地域へのかかわりを多く持てるようにする。	本社にも地域性を考慮してもらい、ご家族との信頼関係も深めて、スタッフの運転でも外出が可能になるように働きかける。 他にも社会資源やご家族の協力を仰ぐ。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。